

ニュー・ブランシュ  
KYOTO 2022  
プログラム

ヴィラ九条山  
30周年記念

Jean-Philippe Toussaint & Annette Messenger

© Jean-Philippe Toussaint

Enveloppe-moi  
わたしを包んで

2022.10.1 Sat.–21 Fri.  
WACOAL STUDYHALL  
KYOTO Gallery

スイスの出版社Take5が編集・制作しMoMAから2013年に発行されたフランスの芸術家アネット・メサジェの“Enveloppe-moi”は、ベルギーの小説／芸術家ジャン＝フィリップ・トゥーサンとの手紙と写真による幻想的な往復書簡を納めたコフレ（箱型の作品集）です。この2011年の5ヶ月間のやり取りの際に撮影されたジャン＝フィリップ・トゥーサンの写真のインスタレーションとともにコフレの中のプリントを架空のロマンス、“大人の遊び”として展示いたします。

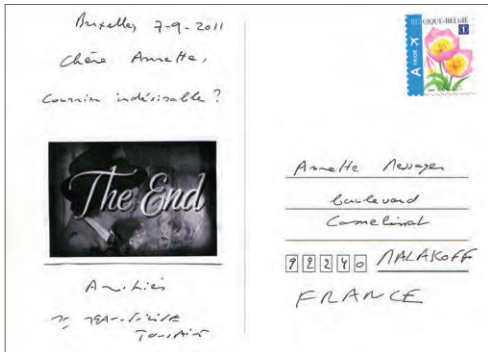


Courtesy by Éditions Take5

## ぼくが考えたこのプロジェクトのこと



Courtesy by édition Take5



Courtesy by Éditions Take5

アネット・メサジェと文通するというこの素晴らしいプロジェクトを持ちかけられたとき、ぼくはプロジェクトに構造を持たせられるようなコンセプトについて考えを巡らせ、二つの目標を立てた。まず、プロジェクトを進めるにあたっての方法を決めて、どの葉書にも三つの波のように返信を送ることにした。返信は三日続けて、一通目ではアネットについて（または彼女の作品について）、二通目ではぼく自身について（というか、多くの場合は言葉について）、そして三通目では雨や天気について話題にすることにしたのだ（だって葉書ではそうすべきだから）。ぼくの非妥協的な精神にどうか感心してほしい。ベケットのマロウンの声が聞こえてくる気がする。「ぼくは自分に向けて四つの物語を語るができると思う。それぞれに異なるテーマについての物語を。一つはある男についての、もう一つはある女についての、三つめは何らかの物についての、そしてさいごは動物、たぶん鳥についての物語。これで何も忘れてはいはずだ。」二つめに、返信を送るのと並行して、この文通の関連資料として、あれこれの構成要素をメイキング・オブのやり方でまとめることを思いついた。ぼくは携帯電話で、原稿や仕事場、書きおえた葉書、葉書を投函したポスト、投函中のぼく自身、そして、郵便物を集めに来る黄色い郵便トラックまでもカメラにおさめたのだった。

ジャン＝フィリップ・トゥーサン | 翻訳: 谷本道昭

Lorsqu'on m'a proposé ce très beau projet de correspondance avec Annette Messenger, j'ai réfléchi au concept qui pourrait le structurer, et j'ai défini deux objectifs. D'abord, j'ai établi une manière de procéder, qui consistait à renvoyer toujours les cartes par vague de trois, trois jours de suite, dans la première parler d'Annette (ou d'une de ses œuvres), dans la deuxième de moi (ou, plus généralement, des mots), et dans la troisième de la pluie et du beau temps (comme il se doit dans les cartes postales). Vous admirerez ma psychorigidité. On croit entendre le Malone de Beckett : « Je pense que je pourrai me raconter quatre histoires, chacune sur un thème différent. Une sur un homme, une sur une femme, une troisième sur une chose quelconque et enfin une sur un animal, un oiseau peut-être. Je crois que je n'oublie rien. » Deuxièmement, et parallèlement, je me suis proposé de réunir, dans un dossier consacré à cette correspondance, les divers éléments de sa constitution, selon le principe du making of, en photographiant, avec mon téléphone portable, mes brouillons, mon bureau, les cartes écrites, les boîtes aux lettres où je les postais, moi en train de les poster, et même la camionnette jaune de la poste venant chercher le courrier.

Jean-Philippe Toussaint

2011年フランスの美術家アネット・メサジェは、数ヶ月間、ベルギーの作家ジャン＝フィリップ・トゥーサンに自分のいくつかの作品が白黒で印刷された未使用のポストカードを送ります。このポストカードには、含みがあり意表をつくイメージのシリーズ、伏せられた言葉、曖昧な文章、身体の一部がプリントされています。トゥーサンは質問や文学の引用を織り交ぜながら、思わせふりで簡潔なそっけない指摘で答え、郵送でアネット・メサジェに返しました。

読み手は、これらのポストカードを観察しながら、美術家と作家との結びつきを考えずにはおれず、独自にこの関係性を構築することになります。

アネット・メサジェは出版者らとの協働で書籍の制作を企画し、彼女の作品をさらに充実させるために、デッサン、コラージュ、縫製、トレースのレイヤー、画像のデジタル処理等、あらゆる技法を用いました。この複数の段階を経た途方もない作業により、メサジェは壮大な詩の版画作品を完成させました。5ヶ月にわたるこの往復書簡がなされる間、ジャン＝フィリップ・トゥーサンは、ポストカードに返事を書いている自身の日常の情景を写真に収めました。

この箱型の書籍は、編集者でMoMAライブラリーカウンシルの責任者メイ・キャッスルベリーとÉditions Take5のセリーヌ・フリブールによってニューヨーク近代美術館のために出版されたものです。

セリーヌ・フリブール (Éditions Take5)

ジャン＝フィリップ・トゥーサン

1957年ベルギーブリュッセル生まれ。小説家・映画監督・写真家。フランス文学の重要作家の一人。『テレビジョン』でベルギーの文学賞ロッセル賞、『逃げる』（2005年）でフランス四大文学賞の一つメディシス賞、『マリーについての真実』（2009年）でフランスのデサンプル賞を受賞。最新作は『L' instant précis où Monet entre dans l' atelier』、『C'est vous l' écrivain』（共に2022年）。本プロジェクトは、ジャン＝フィリップ・トゥーサンが1996年度に招聘作家として滞在したヴィラ九条山の30周年記念プログラムの一つです。

アネット・メサジェ

1943年生まれ。フランスの作家・彫刻家。1995年ニューヨーク近代美術館、2007年ポンピドゥー・センター、2008年には森美術館、その他多数の機関で個展を開催。2005年のヴェネツィア・ビエンナーレではフランスを代表し、金獅子賞を受賞、2016年には第28回高松宮殿下記念世界文化賞（彫刻部門）を受賞。

ニュー・ブランシュ KYOTO 2022プログラム

ヴィラ九条山30周年記念

## Enveloppe-moi ～わたしを包んで～

主催：MUZ ART PRODUCE (MUZ株式会社)

共催：アンスティチュ・フランセ関西

協賛：ワコールスタディホール京都

協力：ヴィラ九条山、Éditions Take5

FOTOZOFIO OFFLINE 2022特別企画

2022年10月1日[土]～21日[金]

10:00～20:00

休館：土日祝

10月1日[土]のみニュー・ブランシュ KYOTOのため  
特別開館（10:00～21:00）

入場無料



FoToZoFiO

WACOAL STUDYHALL  
KYOTO Gallery



京都市南区西九条北ノ内町6 ワコール新京都ビル1階

[アクセス]

京都駅八条口より徒歩7分

※駐車場・駐輪場はございませんので、公共交通機関を使ってください。

Tel: 075-556-0236

お問い合わせ受付時間：月～金 9:30～17:00（土・日・祝のぞく）

当館のコロナ感染症対策について詳細はこちら

